

滋賀県立図書館

概要

滋賀県立図書館は、昭和55年7月に大津市瀬田南大萱の文化ゾーン内に独立した図書館として新築開館しました。

当館は、県民に対する直接貸出とともに、県内各市町の公共図書館と連携を保ち、協力しながら県民の読書要求に対して責任を持つサービスを行ってきました。このことにより、利用は飛躍的に増加し、身近な文化施設として県民の中に定着しています。



図書館外観

蔵書

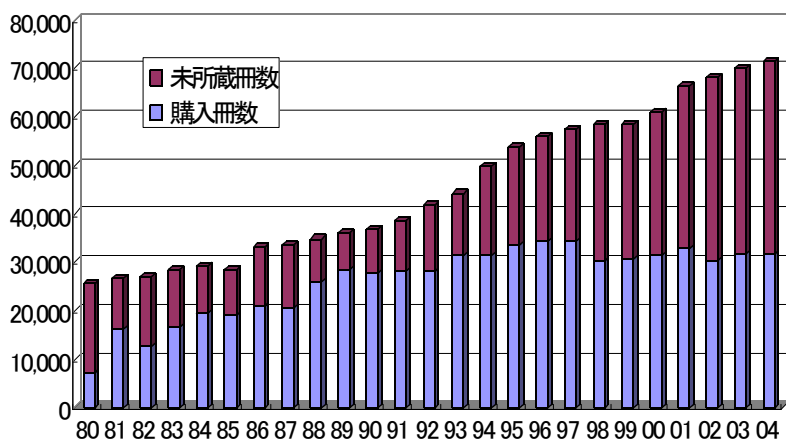
図書館の基本は図書資料の提供にあると考えております。そのため、蔵書の充実を図る必要があり、年々書籍の出版点数が増加する中、毎年3万点の購入数を確保する等積極的な収集に努めています。

■ 現在の蔵書冊数:約112万冊

■ コレクション:

- ・湖沼等を中心とした水資料
- ・中国湖南省友好文庫

(昭和58年より中国雑誌61タイトル所蔵)



購入冊数の推移

利用

県立図書館の所蔵する資料は県民がどこに住んでいても利用出来なければならないと考えることから、市町立図書館に対して自館で提供出来ない資料の貸出などを行い、その活動を支援しています。

- **横断検索システム**: 県内の公共図書館、大学図書館、博物館等の専門機関の資料の所蔵状況を確認することの出来る横断検索システムが利用出来ます。
- **協力車の運行**: 市町立図書館から要求された資料を週1回協力車で巡回し届けることにより、地域の身近な図書館で県立図書館の資料が利用出来るネットワークシステムを整備しています。
- **障害者サービス**: 身体に障害のある人など図書館に来られない人のために、図書の郵送貸出を行っています。
- **電子情報サービス**: インターネットや館内の検索端末を通じ、資料の予約が出来ます。また、予約到達の連絡も電子メールを通じて行えます。
また、所蔵する絵図などの歴史的貴重資料を電子化し、ホームページ上に公開することで、誰もが気軽にアクセス出来るデジタルアーカイブを公開しています。

県内新聞記事データベース

図書館で購入している主要全国紙7紙より毎日滋賀県関係記事を入力し、翌日にはインターネットを通じて記事の見出し、日付、掲載された新聞名、市町名等で検索が可能です。滋賀県関係新聞記事データベースには、毎月約1,800件の記事入力を行っており、1983年以来約50万件の新聞記事情報を蓄積しています。

児童図書サービス

児童室には絵本や紙芝居など約4万冊の本が並んでいます。これらの児童室の児童室利用者向け図書他に、市町立図書館・児童図書館関係者・文庫運営者のための選書や研究および保存用として昭和63年以降、新刊の全点を各1部収集しています。全て合わせて約15万冊の児童書を所蔵しています。



一般資料室カウンター

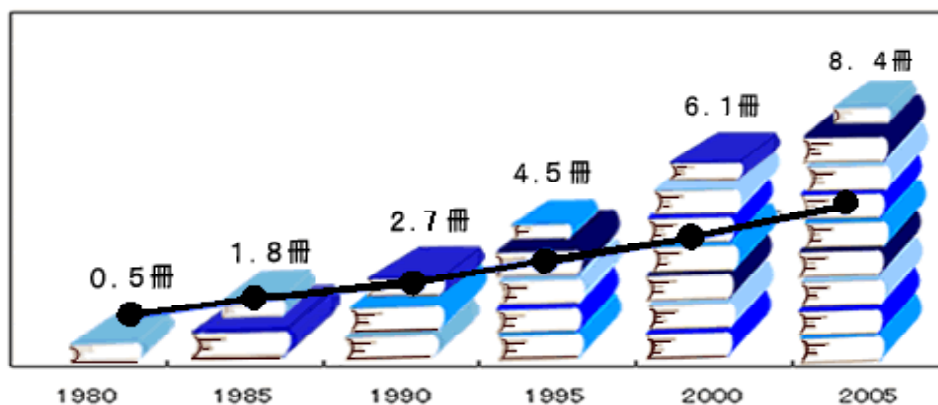


新聞・雑誌コーナー

- 平成16年度の滋賀県民一人あたりの貸出冊数は8.4冊、**3年連続全国1位**となりました。全国の平均は4.7冊ですので非常に高い数字となっています。

滋賀県 人口1人あたり貸出冊数

全国平均



県民一人あたりの貸出冊数＝滋賀県内市町立図書館貸出総冊数／H17.3.31現在滋賀県人口
(11,342千冊) (1,354千人)